



コンタクト384

Raelian Movement Newsletter

67aH 1月20日

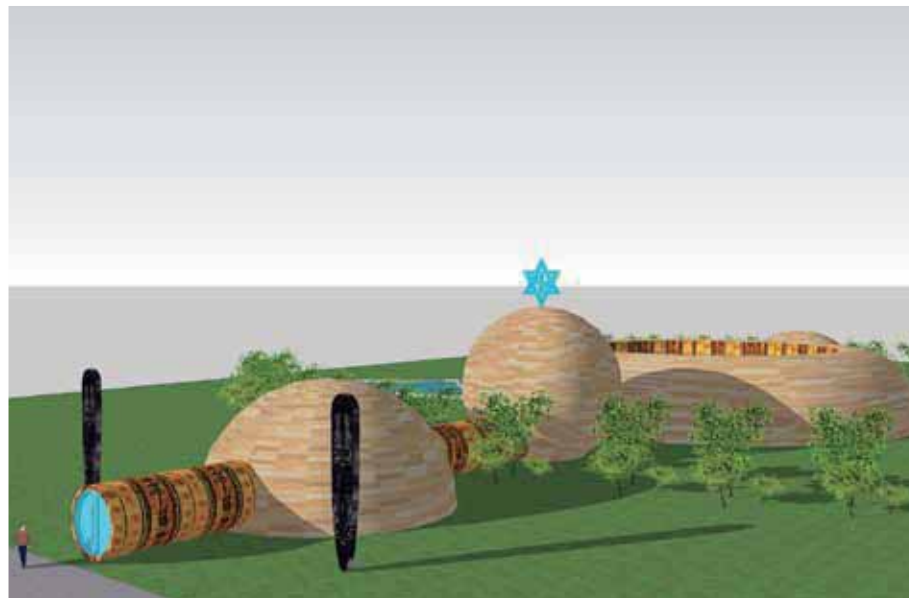
目次：

弥勒菩薩ラエルのお言葉

- 2 愛の瞑想
- 3 今日はどうな初めての事をしましょうか
- 5 愛は私たちのDNAに書かれています
- 6 優しさと幸せ
- 7 未来は融合にあります
- 9 うつについて
- 11 ラエルは、投票年齢を16歳に引き下げるというアルゼンチンの決定を支持します
- 11 ラエルは、イギリスの内務委員会が麻薬合法化措置を考慮する提案をした事を称賛します
- 11 ラエルはジェラルド・ドパルデューを支持します

世界のラエリアン

- 12 ジャマイカ、キングストン
- 13 バージン諸島
- 14 コートジボワールでの平和のための一分
- 15 スイスでの平和のための一分
- 15 ネパールでの平和のための一分
- 16 メキシコ、モレリア
- 17 オンライン瞑想
- 17 フランス:12月10日を世界の祝日に
- 18 南カーマでのハピネス・アカデミー
- 19 サンフランシスコでのクリトレイドの手術
- 19 その他の活動の写真



古代エジプト版大使館

化石にならないで、すべてを変えてください。

楽しんで、すべてを変えて、いつも新しくありましょう。

周りの人を驚かせましょう。いつも同じでないようにしましょう。

毎日新しい自分になります。

新しい自分におめでとう！

67 aH 11月 ラエル

弥勒菩薩ラエルのお言葉

愛の瞑想

11月1日 弥勒菩薩は短い瞑想を指導してくださいました。
小さな瞑想とおっしゃいましたが、最も重要なものでした。

ただ、愛を送りましょう。愛は人生で最も重要なものですから。

まずは、皆さんの体への愛を感じましょう。

皆さんの足、つま先、脚、性器、お腹、胸、手、指、腕、肩、首、顔、脳への愛を感じましょう。

自分自身のこれらすべての部分に愛を送りましょう。

皆さん自身を形作っているすべての細胞に愛を送りましょう。

皆さんの細胞に深い愛を送る時、細胞は輝き始めます。
まるで何十億もの星のように。

今度は、皆さんの周りの人たちに愛を送りましょう。

愛と同情心。

それから、外にいる人たちに。彼らは皆さんがここにいることを知りませんが、皆さんの愛を感じるでしょう。

それから、とても遠くにいる人たちに。地球上のすべての人たちに愛を送りましょう。

皆さんのことを嫌っている人たちに愛を送りましょう。

皆さんを憎んでいる人たちに、すべての人に。地球上の全ての存在に。人間だけではなく。

すべてのアリ、鳥、海の生物、魚、すべての生き物に。

すべての生物に向けて私たちの愛を輝かせましょう。

地球だけではなく、無限の宇宙にも。エロヒムにも。エロヒム以外の存在にも。

生命の存在する無限の惑星に、皆さんの手の中にある無限小の中の無限の惑星に。

皆さんが愛を送ると同時に、無限の中のどれだけの人が今、皆さんに愛を送っているだろうかと想像してみてください。彼らは、皆さんのことを知らずに、皆さんに愛を送っています。

無限小、無限大、そして地球上のどれだけの人が、皆さんが今しているのと全く同じことをしているのでしょうか、皆さんのようにあらゆる所に愛を送っているのでしょうか。

何人の人が送っているのでしょうか？無限の数の人たちです。

これこそが宇宙の意識かもしれません。

永遠の、無限の愛の流れ。

それを感じましょう。内から外へ、外から内へ。



今日はどんな初めての事をしましょうか。

11月18日

毎日意識を高めるためのお話を少ししましょう。朝起きた時に、皆さんがすべてを手にし、美しい日を送り、寝る前にもすべてを手にし、良い気分になれるように。

その手助けをする二つの方法があります。

一つ目。目が覚めたことに感謝しましょう。目が覚めない日がいつか来るかもしれませんが、もしも、エロヒムの惑星で目が覚めたら、素晴らしいですが、どこでも目覚めなければ、あまりよろしくありません。

私たちが死んで、もしエロヒムの惑星に再生されなければ、だって、再生されるに値するかどうか分かりませんから、そうしたら、目は覚めません。鉱物からやってきた皆さんは、鉱物にかえり、皆さんの意識は永遠に消え去ってしまいます。

いつそうなるかは分かりません。ですから、まず、目が覚めたら、こう言います。

「わー、私はまだ生きている。美しい日がもう一日あるなんてありがたい」

ただ目覚めることが、素晴らしい贈り物です。

お金も、恋人も、権力も必要ありません。目覚めるだけで感激！

二つ目、年を取りたくなければ、毎日自分に尋ねてください。今日人生で初めてのことをしただろうか、と。

年を取れば、もう初めてのことをしたいと思わなくなりがちです。

もちろん体は年を取り、それについて私たちができることはありません。でも脳は、必要なことを行えば、決して年を取りません。

脳全体がではなく、最も重要な部分である、意識がです。

子供の頃は、毎日初めてのことをたくさんしますが、年を取るにつれて、それが少なくなっていく。精神的に年を取ると、初めてのことをせずに何ヶ月も何年も過ぎていきます。

年寄りはいつも同じことを同じ方法で同じ場所で同じ時にします。

年を取るのが好きならそれで完璧です。脳は縮小し、あなたはそれを失い、植物になります。

ですから、どうぞ、毎朝目が覚めたら、自分に尋ねてください。

「今日はどんな初めてのことをしましょうか？」

初めてするところを見つけるのは簡単です。20個はいりません。1つだけでお願いします。

その日が終わる時、布団に入る前に、その日人生で初めてしたことを一つ思い出します。

明日はまた別のことをします。

皆さんに質問します。想像してみてください。今日、人生で何を初めてしますか？

何でも良いです。行ったことのない場所に行くのも良いです。

それまで話をしたことのない人に話をするのも良いです。

ただし、買い物はだめです。買うことのできるものは数に数えませんが、買う物はだめですし、自分の思いのままにできることもだめです。あなたがする事で、人生で一度もしたこのないことです。



皆さん、今日は何をしますか?どうですか?私に答えることができる人はいますか?皆が答えられなくてはなりません。

見つけてください。年を取るほど、見つけるのに時間がかかります。

若い人にこの質問をすると、彼らはすぐに答えます。「これをしたい、あれをしたい」

年寄り、「うーん」(考えている)。皆さんは若いですか、年寄りですか?

私に答える準備はできてますか?今日は何をしますか?

すぐに、何かクレイジーなこと、何か美しいこと、何か新しいことを見つけてください。

見つけるのに時間がかかるほど、年寄りになりつつあるのです。

これを毎日すれば、見つける時間は短くなっていきます。最初は難しいですが、後はどんどん短くなるでしょう。

とても簡単なことで良いのです。例えば、カタツムリを見つけて、20分間それを見ているとか。森に行き、野の花で生け花を
 するとか。できるだけ簡単なことのほうが良いです。

練習しましょう。毎日練習して、次の日曜日にはすばやく答えられるようにしましょう。

じゃあ、私は早速、歌を歌おうと思います。皆さんのために、エロヒムを歌います。みんなと一緒に。
 でも、今までとは違った歌い方をします。皆さん気づいていたかもしれませんが、私はエロヒムを歌うときは、いつも違う歌い
 方をしてきました。いつも新しいやり方をするという脳の訓練をしています。



同じことを繰り返すのは、退屈なことです。脳が縮んでしまいます。

エロヒムを歌う時はいつも、「どう変えようか」と考えます。

日本のミュージシャンは決してそのようなことはしません。
 楽譜どおりにきちんと演奏します。彼らは化石になります。

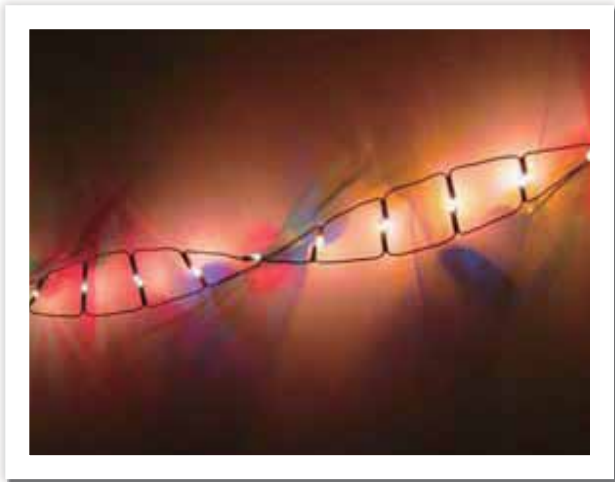
化石にならないように、あらゆることを変えましょう。
 楽しんで、あらゆることを変え、いつも新しい状態でいましょう。

皆さんの周りの人みんなを驚かしましょう。同じままでいないで
 ください。

毎日新しい自分になるのです。

新しい自分、おめでとう!

美しい日をお過ごしください。今までやったことのないことをやる、
 これを忘れないでください。



愛は私たちのDNAに書かれています

12月2日

その日曜の朝、弥勒菩薩はテレパシー交信を指導してくださいました。

テレパシー交信とはどういうことか知っていますよね。
それは愛に関することです。

私たちにはいつも愛が足りません。地球上にはいつも愛が足りません。

私たちの意識の中にもいつも愛が足りません。

いつも足りないです。

いつも。

最もクレイジーな愛を想像したとしても、十分ではありません。

愛が十分にあるというのは不可能なことなのです。

たとえ皆さんの細胞すべてが愛に満たされていたとしても、まだ十分ではありません。

どのレベルの愛が十分だと言えるでしょうか。無限です。私たちは無限に達することは決してできません。でも、無限と調和することはできます。

私たちが無限の愛と調和し、その調和の中で振動する時、愛が十分という状態に近くなります。

私たちの細胞の一つひとつからやって来るの無限の愛を、エロヒムに送ってみましょう。

目を閉じて、エロヒムにこの愛を送ってみましょう。皆さん自身の中で、「エロヒム、愛しています」と言ってください。

脳だけではなく、体中の細胞すべてが同時に言っています。「エロヒム、愛しています」

私たちの創造者たちへのこの無限の愛を感じる時、泣き出さずに入られません。

この愛の涙は、エロヒムへの最高の贈り物です。

脳がこの考えから逃げ出してしまうないようにしましょう。すべての細胞を通して愛を送ることに集中し続ける必要があります。なぜなら脳は、長い沈黙があると、突然未来のこと、過去のこと、これから起こることを考え始めますから。だめです。体中の細胞を使って愛を送ることに集中しましょう。

何も考えないでください。脳に過去のこと、未来のこと、テレパシー交信の後に何をするかについて、皆さんの人生の問題について、お昼ごはんのことについて考えさせないでください。ただ、全細胞を使って愛を送りましょう。実際これは、愛を送る以上のことです。愛になることです。

私たちのDNAの大部分は、愛で作られています。私たちのDNAコードの大部分は愛です。

だから私たちが愛になる時、気分が良くなるのです。なぜなら、私たちの細胞の中のすべてのDNA分子が、その使命を果たしているからです。

愛は私たちのDNAの中に書かれています。

愛は生命です

愛がなければ、生命はありません。

私たちが愛を送ること、愛になり、この愛を送ることに本当に集中すれば、別のレベルに到達します。そこでは、皆さんが愛を送るだけでなく、愛を空から受け取ります。

なぜなら、エロヒムが皆さんに同じ愛の波を今、送っているからです。

エロヒムの愛が皆さんに降り注いでいるのを感じますか。

優しさと幸せ

12月9日

エロヒム、私たちが共にいることに感謝します。

エロヒム、私たちにメッセージを与えてくださりありがとうございます。

エロヒム、私たちに人生の意味を与えてくださりありがとうございます。

エロヒム、私たちの人生に目的を与えてくださりありがとうございます。

エロヒムありがとうございます。

あなたたちの愛、尊重、優しさ、そして偉大な哲学をありがとうございます。

そして特に、教えの中で、幸福に重点を置いてくださりありがとうございます。

エロヒム、ありがとうございます。

優しさと幸せについてもう少しお話ししたいと思います。優しさと幸せは一緒にあるものです。

とても優しくなければ深い幸せを感じることはありません。

本当の幸せはいつも深い優しさからやってきます。

他の幸せは本物ではありません。それは幸せというより喜びです。

アルコールを飲んで喜びを得ることができます。麻薬やお金、権力を使う、それも喜びです。幸せではありません。

幸せは優しさと共にあります。

お互いに優しくありましょう。エロヒムは私たちにとても優しいです。それと同じように。

エロヒムには巨大な力があります。私たちを創造し、地球上のすべての生命を創造しました。

彼らは一秒でそれを破壊することもできます。

彼らは今でも、地球上の全生命を一秒で破壊することができます。なぜなら、私たちが地球上にこれほど多くの暴力を引き起こし、いろいろ悪いことをしているから、生きるに値しないと考えることもできるからです。私たちに生きる資格がないと彼らは考えることができます。

私たちは毎日一千種以上の動物を破壊しています。彼らの創造物を毎日一千種もです！

彼らは怒ることもできます。「彼らは私たちが創造した生命を破壊している！戦争、汚染、フクシマで。彼らは地球上に私たちが造った美しい物を破壊している」

とても怒って、「人類を滅ぼそう。彼らは間違いだ」と言うこともできます。

でも違います。彼らは私たちが信用しています。彼らの無限の優しさで、「彼らは過ちを犯しているけど、学ぶだろう。この創造物を救うだろう」と考えています。

私たちは創造物を尊重していません。私たちは彼らの創造物を滅ぼす事で、エロヒムを冒瀆しています。私たちは彼らを侮辱しているのです。

超自然の神や進化論を信じる時、私たちは彼らを侮辱しているのです。彼らは怒ってこう言うこともできます。「何だって?!私たちを侮辱している。お前たちを滅ぼす」

でも違います。彼らはそれでも私たちを愛しています。



私たちは彼らを侮辱しているのに、彼らは私たちに愛と優しさを与えてくれます。

私たちは殺し合い、動物を滅ぼしているのに、彼らは私たちにメッセージを与えます。

それは無条件の愛です。私たちが何をしようと、彼らは私たちを愛し、私たちに優しくします。

彼らは私たちの創造者です。このように言うこともできます「わかった、行くよ、行くよ」
彼らは地球のどこにでも着陸できます。どんな軍隊も武器も彼らに対抗することはできません。

でも、彼らは言います。「どうぞ大使館を建ててください。大使館を建ててくれたら、私たちが招待してくれるなら、やって来ます」

ワオ!

彼らはやって来てこう言うこともできます。「もういい。私たちは創造者だ。あなたたちが気に入らなそうでなからうが、私たちはやってくる!」

それはアメリカ流の政府が言うことです。「我々は民主主義をもたらしにやってきた!」
爆弾と軍隊を携えて。

そうではなく、「どうぞ大使館を建ててください。大使館を建ててくれたら、私たちが招待してくれるなら、やって来ます」

何という謙虚さの教えでしょう!優しさ、尊重、そして愛の素晴らしい教えです。

それを忘れず、お互いに実行してください。お互いへの優しさや尊重は、いくらあっても足りないものです。もし私たちの創造者の姿に自分自身を似せたいと思うなら、お互いに優しくし合ってください。

未来は融合にあります

12月13日

沖縄でのトランスミッションの後で。

なんて美しい日でしょう!

こんなにたくさんの方が家族に加わってくれて、私たちはとても幸運です。

今日は皆さんにとって驚くべき日です。どれほど素晴らしい日であるか実感する必要があります。

アメリカ人が言うように、皆さんにとってそれは小さな一歩かもしれませんが、皆さんの遺伝子コードにとってそれは大きな一歩なのです。

皆さんは、40キロや50キロ離れたところからここにやって来たかもしれませんが、皆さんの遺伝子コードは、エロヒムのコンピュータまで何百万キロ、何十億キロの旅をしています。

私がエロヒムに会ってから39年経ちました。

39年は長いです。私はそれで自分が若い気にはなりません、若い気になります。私はまだ39歳だと言うこともできますから。だって、それ以前の私の人生は面白くありませんでしたから。

39年前、私がトランスミッションについて説明していた時、地球で最も進んだ科学者でさえそれを説明できませんでしたし、トランスミッションの背後にある科学を理解することはできませんでした。でもここ数年、科学者は、私たち一人ひとりが異なる遺伝子コードを持ち、それが特別な波長を持っていることを発見しました。つまり、皆さん一人ひとりが、電波を発するラジオのようなもので、その電波は各個人のもので、それはものすごく素晴らしいことですが、とても単純なことです。

私たちの科学でそれを理解するのは難しいですが、とても単純なことです。

毎日、科学はエロヒムのメッセージを裏付けています。

毎月、エロヒムのメッセージに書かれていることを裏付ける新しい発見があります。

私たちはとてもワクワクする時代に生きています。メッセージの内容の99%は、39年前は不可能なことに思えました。

今、最も進んだ科学者たちは、「もしかしたら、ラエリアンは正しかったのかも」と言い始めています。

私は、あるとても進んだ原子力研究施設で働く人と会いました。そこは平和的原子力の研究をしている所で、原子爆弾や原子力発電所ではなく、原子より小さなレベルの研究をしています。

彼は、皆さん同様、私たちのシンボルが無限小と無限大をあらわし、皆さんの指の中に非常に小さな銀河が存在し、小さな惑星の上で生きている小さな人々が今同じようにトランスミッションを受けているかもしれないということを知っていました。

宇宙のバランス、宇宙の調和には、防衛対策、保証が必要です。例えば、原子を破壊してはなりません、それは、他のレベルに影響を与えますから。また、惑星を破壊することもなりません、それはバランスに影響を与えますから。すべてのことがあらゆることに影響を与えます。

この原子核科学者は言いました。「あなたのメッセージを読んだ後、私たちは考えました。ある非常に進んだ原子力研究センターで、無限小を研究するために、非常に速い速度で陽子や中性子を衝突させたとしたら、それは悪いことでしょうか。それは無限小に影響を与え、同時に私たちのレベルにも影響を与えるのでしょうか。だって、すべてのことがあらゆることに影響しますから」

私は答えました。核融合はとても良いことです。

融合は物を結びつけることです。融合は愛です。

でも、核分裂は、破壊であり、間違ったことです。

核分裂は宇宙のバランスを崩します。

核分裂は原子力爆弾やフクシマを作り出しました。それはひどいことです。

ですから、未来は融合にあります。

原子レベルでの融合、人間のレベルでの融合、一つになること、境目もなく、隔たりもなく、お互いに近くなること。

だって私たちは一つなのですから。それは昔仏陀が教えたことです。私はあなたであり、あなたは私である。エロヒムは私たちであり、私たちはエロヒムである。私たちは一つ、それが融合です。

別の言葉で言えば、愛です。

ですからどうか、お互いをできるだけ近くに感じてください。皆に愛を与え、この世界的融合を作り出しましょう。それしか、地球に平和と美しい未来をもたらす方法はありません。

私たちの選択は今、非常にシンプルです。愛か破滅かです。

それは人類史上かつてなかったことです。

互いに愛し合うか、殺し合うか、それは私たちの選択です。

私たちは愛を選びますよね？

そう、私と一緒に言いましょう。「私は愛を選ぶ」

うつについて

12月16日

弥勒菩薩はその日、うつを癒すために何をしたら良いかという質問を受けました。

私が知っていることは非常に限られています。私の知らないことは無限にあります。

うつについては、まず、身体的原因がないかどうかをはっきりさせます。身体状態や病気によっては、うつを引き起こすことがありますから。

うつのほとんどは内科的疾患によります。ですからまず、内科的疾患や病気がないかどうか調べるのが非常に重要です。うつになるのは、十分瞑想していないからだとか、調和的でないからだとか人々は考えます。でもそのうつが内科的疾患や病気が原因の場合、どんな瞑想をしても、役には立ちません。

例えば、血中の鉄分が不足していれば、とつても疲れて、気分が落ち込みます。

瞑想をやりたいただけやっても良いですが、その人には鉄分が必要なのです。

例えば、腕を切り取られたとして、瞑想しても良いですが、それで腕が生えてくるわけではありません。

ですからまず、内科的疾患や病気があれば、それを治療しましょう。うつが一番の原因は内科的疾患であり、原因となりうる疾患は非常にたくさんありますから。

最も重要な原因の一つは、栄養不足です。適切な食べ物を食べていないのです。体や脳を毒し、落ち込ませる食べ物はたくさんあります。マクドナルドやコカコーラなどのアメリカから来たひどいジャンクフードをたくさん食べると、ビタミンや栄養が足りなくなり、病気になります。ジャンクフードを食べると、すぐに癌になることもありますし、糖尿病や、その他数多くの病気になります。

私たちには食料から得る良いミネラルやビタミンが必要です。錠剤からのではなく。錠剤は、悪い食べ物によって引き起こされた問題を修復するためにできています。適切な食べ物を食べていれば、錠剤は必要ありません。最も良い薬局は、野菜を売っているお店です。おいしい果物や野菜、できれば有機栽培のもの、これらを食べていれば、錠剤が必要になることはありません。私はずっと有機栽培の野菜を食べ、肉はほんの少しだけ食べます。そうすれば、若く健康でいられます。

例えば、体にとって最も重要な栄養素の一つは、マグネシウムです。化学肥料で大量生産された野菜には、マグネシウムはほとんど入っていません。昔の野菜は、牛や馬の糞、マグネシウムで育てられていました。マグネシウムが自然にたくさん入っていたのです。でも、化学肥料で大量生産された野菜にはほとんど入っていません。マグネシウムの欠乏は、うつの最も重要な原因の一つです。

ですからどうぞ、有機栽培の野菜や果物を選んでください。それが難しい場合は、年に一度、できれば自然のマグネシウムサプリを少量摂ってください。それは普通の食事で不足している最も重要な栄養素ですから。

2番目には、寄生虫がいなかを調べてください。3割の人が寄生虫を持っています。皆さんの中の3割がです。寄生虫は、腸内だけではなく、脳内にも入り込んでいきます。十分に焼かれていない肉、特に豚肉を食べると、寄生虫が入り込みます。沖縄の豚肉はおいしいですが、寄生虫がたくさんいます。牛肉にもたくさんいます。牛肉は時々生で食べますよね。それは非常に危険です。この寄生虫は、脳に入り込み、気分を落ち込ませ、自殺したい気分させることもあります。非常に強力なのです。

3番目、これは日本や中国が特に影響を受けやすいのですが、グルタミン酸ナトリウムです。これを避けてください。これは毒であり、気分の落ち込みを引き起こします。それは神経の毒なのです。

これら3つが主な原因です。

良い食べ物を食べ、寄生虫もいなくて、グルタミン酸ナトリウムの問題がなければ、うつは瞑想で治すことができるでしょう。

寄生虫、悪い食品から来る栄養素の不足、グルタミン酸ナトリウムの問題を無くすと、うつの70から80%が無くなります。

残りの30%は、ストレスや瞑想の不足が原因です。

すべての問題を解決し、瞑想をして、ストレスがない、それでもうつであるのなら、それはおそらくうつのたったの2%を占めるものですが、それは遺伝的な問題と関係ある可能性があります。でもそのようなケースは非常に少ないです。

でも、ストレスはひどい物です。私がストレスと言う時、否定的なストレスについて考えないでください。ストレスは強い感情から来る物です。肯定的感情でも否定的感情でもです。肯定的感情もストレスを引き起こします。ですから、仏陀のように、幸せでいながら穏やかでいるのが良いのです。

幸せすぎて跳びあがるのはストレスです。悲しすぎて泣くのもストレスです。

コンピューター・ゲームが好きな人たち、若い人たちがいますね。コンピューター・ゲームは楽しいです。私も大好きです。遊んでいる時は幸せです。でもそれはストレスを引き起こします。

ですから、否定的なストレスにも、肯定的なストレスにも注意しなければなりません。誰かを愛することは美しいことですが、それはストレスです。穏やかに愛すれば美しいですが、愛しすぎて食べるのも寝るのもやめてしまうと、愛は毒になります。

いつも中庸を行きましょう。仏陀の教えです。大きな落ち込みや大きな上昇を恐れましょう。ただ中庸を行き、幸せでいましょう。そうすればうつになることはありません。

「わーい」と空に向かってジャンプしたら、その後どうなりますか？体は下に落ちていきます。

大喜びするのは良いことです。でも、あまり高く跳びあがらずに、内側で感じましょう。そこそこに跳びあがり、その後落ちないようにエネルギーを保ちましょう。あまり高く跳びあがったら、地面に落ちた時、痛いのです。小さくジャンプするのは大丈夫。調和を保ち、ストレスも落ち込みもありません。

まとめると、否定的考えだけではなく、肯定的過ぎるのにも注意しましょう、ということです。

ここにある美しい海のように。小さい波の時は穏やかな海ですが、台風が来て大波が来ると悪い海になりますね。

津波は良くありません。たとえそれが喜びの津波であっても。

皆さんの頭の中に穏やかな朝の海を持ちましょう。完全な凪の状態ではなく、少し波がある程度に。それが幸せです。

皆さんの頭の中に永遠にこの穏やかな海がありますように。

ラエルは、投票年齢を16歳に引き下げるというアルゼンチンの決定を支持します

アルゼンチンの議員たちが、選挙権を与える年齢を16歳に引き下げる法案を可決したことを受け、ラエリアン・ムーブメントの精神的指導者ラエルは、その新しい法律を「世界中で適用されるべき素晴らしい決定」であるとして、アルゼンチン政府に祝辞を送りました。

ラエルはさらに、投票年齢を14歳にまで下げることがを提案しています。「若者は、自分たちの将来の環境に影響を与える政治的決断に、老人よりも大きな関心を持っています。老人はあと数年しか生きないため、あまり関心を持っていないとは言えません」

ラエルは、投票について更なる改正を提案します。「投票権は、病気のために決断する事ができない人たちには与えないようにすべきです」とラエルは言い、投票権を失うべき人たちは、知的障害のある人たちやアルツハイマーなどの変性疾患のある高齢者で、毎日の生活の単純な決断さえできない人たちも含むべきだと、言います。「そのような人たちの家族や看護師までもが、その人たちの代わりに投票するにはびっくりしてしまいます」とラエルは言います。

「かつて、利己主義、国粋主義、競争、欲が世界を支配していなかった頃、長老会議が良い決断を行っていました。このようなグループはもう存在しません。かつてあった長老会議は、利己主義、国粋主義、競争によって汚れていない、将来の世界についてはるかに良い展望を持つ若者たちで構成された『若者会議』に取って代わられるべきです」

ラエルは、イギリスの内務委員会が麻薬合法化措置を考慮する提案をした事を称賛します

現在のイギリスの麻薬政策に対する一年にわたる調査を終え、イギリス下院の内務委員会は、麻薬王たちとの戦いに破れてきたことをふまえ、政府に麻薬の使用を合法化し規制する可能性について検討するように求めています。

ラエルは、委員会の提案に完全に同意しています。
「全くこの委員会の言うとおりです!麻薬を犯罪とすることで、うつ状態で希望を失った人々が刑務所に入れられています。刑務所で彼らはさらに希望を失い、落ち込み、本当の犯罪者になってしまう可能性があります」

ラエルにとって、「偽りの天国」によって現実逃避しようとしている不幸な人々を罰することは、愚かであり、犯罪なのです。

「それよりも社会は、愛、分かち合い、同情心に基づいた価値観を持ち、すべての人が希望と一体感を感じられるようにすべきです」

ラエルはジェラルド・ドパルデューを支持します

ジェラルド・ドパルデューがフランスを去り、パスポートを返すことを決定したことについて、ラエルは素晴らしい決断であると支持しました。

「才能ある人々はすべて、彼らに重税を課しているこの国を去るべきです」とラエルは言います。

「芸術家や創造的な個人を罰する代わりに、政府は戦争や武器にお金を使うことをやめるべきです。フランスはこれに関して、アフリカやその他の国で新植民地主義を押し付けているという、最も悪い国の一つです」

世界のラエリアン

ジャマイカ、キングストン

リキ・クラインとベッキ・ルイスは、ジャマイカにラエリアン・メッセージをもたらす旅の準備に何ヶ月も費やしてきました。ジャマイカのラエリアン・ムーブメントを発足させるためです。彼らは、10月23日火曜日、ハリケーンがやってくる日にキングストンに到着。ハリケーンがやってくる前に緊急物資を受け取るのに間に合いました。

リキは一年以上、興味のあるジャマイカ人たちとメールのやりとりをし、成功のために綿密に計画を立てるためのアドバイスを受けてきました。アメリカを経つ前に、ウエスト・インディーズ大学での講演会とテレビ出演が準備されていました。そのテレビはジャマイカ最大の局でのゴールデンタイムにジャマイカ中で放映される物です。メディアにメールとプレスリリースが送られ、ジャマイカの主要新聞に広告が載る手はずも整えられました。

嵐が過ぎた後の数日は、ポスター張りやチラシ配りが主な作業でした。場所はウエスト・インディーズ大学とジャマイカ技術大学です。合わせてポスター50枚ほどが貼られ、千枚近いチラシが配られました。ジャマイカ人でウエスト・インディーズ大学の卒業生であるコナタ・ベルチがポスター針やチラシ配りに最適な場所を教えてくださいました。

ポスター張りの最中に、ラジオ局の人と出会い、ジェリー・スモールのラジオ番組に30分間ゲストで出演することになりました。リキはラエリアン・メッセージによる人類の創造についてインタビューを受け、ジェリー・スモールはラエリアンのクリトレイド計画についてリキと熱心に話をしました。ジェリーは何度か翌日の講演会の宣伝をしてくださいました。



大学での講演会は、ジャマイカに到着してから1週間後の火曜日でした。司会はコナタで、70名の人を歓迎し、講演者を紹介してくれました。まず、ベッキが女性器切除について話をし、続いてリキが生命誕生の第三の説について話しました。話は1時間に及び、その後の45分は質疑応答が活発に行われました。短い休憩の後、興味を持った人が残り、ラエリアンであるということの意味について、そして、ラエリアン・ムーブメントについて学びました。何人かは、活動に参加したいと言い、何人かはトランスミッションを受けて正式なラエリアンになりたいと言いました。リキは、まもなく行われるオンライン・ミーティングでラエリアン活動に参加できることを伝えました。さらに最も重要なことを伝えました。それは、彼のこれまでの役割は、ジャマイカ人によるジャマイカ・ラエリアン・ムーブメントを設立するための手伝いであるということでした。

講演会の翌日、リキとベッキはジャマイカ中で放映されるテレビ番組からインタビューを受けました。その番組は、宗教の進行と概念について掘り下げる番組で、保守的で敬虔なキリスト教徒が大部分であるジャマイカ人に大変人気のある番組です。比較宗教学に造詣の深い牧師のイアンが宗教について議論するのに最も最適です。彼のカリスマ的振る舞いは、特に鋭い質問をする時、常に礼儀正しく友好的な物でした。録画されたインタビューは1月末か2月初めに放映される予定です。

ジャマイカ・ラエリアン・ムーブメントの歴史の第一章は終わりました。次章は既に始まっています。



ヴァージン諸島

北アメリカ大陸ガイドリック・リー・ローア司教ガイドの指示の元、ガイドのアンドレ・ジュリアンが指揮して、1年半に及ぶ調査、計画、準備を経て、11月29日、ガブリエル・ブルトーとそのアシスタント、ヴィクトール・ムスカットのチームは、セント・トーマス空港に到着しました。第一の目標は、ヴァージン諸島の人々に初めてメッセージをもたらすことでした。第二の使命は、大使館プロジェクトのマイトレヤのアシスタントである司教ダニエル・テュルコットの代理として、政府にエロヒムの大使館の建設を提案し、土地の提供を求める書類を手渡すことでした。

マイトレヤの教えと、私たちの親愛なる創造者エロヒムと人類に向けての毎日の祈りと瞑想に刺激され、私たちは熱意と興奮で翌朝から12日後の講演会までの私たちの行動計画を始めました。最初に行ったのは、地元のメディアでヴァージン諸島の人々の関心事を知ることでした。私たちは、ユー・チューブで経済が震撼しているのを知りました。その地域の一番の雇用主と、西半球で2番目か3番目に大きい製油所が閉鎖されており、政府予算に大きな穴が開き、その地域の総生産が大きく減少していました。私たちはこの出来事をチャンスと捕らえました。プレスリリースとチラシを再編し、大使館計画がこの出来事の解決策の一つであるというアプローチにしました。20の報道機関にメールを送りました。無神論者のラジオ番組ホストであり大学の先生をしている人から2通のメールが来て、講演会の前に3日ニュースで宣伝してくれると約束してくれました。また、主要なニュースサイトが私たちのプレスリリースをありがたく受け取ったということです。

主要な新聞2紙に広告が載りました。チラシ2000枚が配られました。もっと寒い国の出身の私たちは、とても楽しみました。メッセージについて話をするのはいつもワクワクすることですが、熱帯気候の下で、街や、港の近く、タクシーで、行楽地でのそれはもっとワクワクします。私たちが話をした地元の人達は、本当に興味を持ち、心が開かれていて、寛容な人たちでした。私たちのチームメイトであるギャリー・キャロンのおかげで、「他の惑星から来た科学者たちがDNAを使って私たちが創造した-Rael.org」とプリントされたTシャツはいたるところで注目を集めました。

私たちの第二の使命のために、私たちは政府の事務所を訪れました。また、アメリカ領ヴァージン諸島の下院のクリステンセン閣下にも大使館提案のコピーを残してきました。私たちは礼儀正しく歓迎されました。12月11日、ボロンゴベイ・ビーチ・リゾートで講演会が行われました。地元の人々のグループが礼儀正しく話を聞き、最後まで残って質問をしていました。



全体として、私たちはそこに入り込んで、種をまいたと思います。これからも連絡を取り合う人たちも見つけました。将来のために、経済的社会的観点からどうなっていくか見続けていくつもりです。私たちの経験とコンタクトから、今後の行動の予定を決めていきます。

ヴィクトール・ミュスカット、ヴァージン諸島チーム

コートジボワールでの平和のための1分

世界的なキャンペーンである「平和のための1分」の開始の式が、67ah(2012)11月15日木曜日コートジボワールの平和の日に、アビジャンのホテルで行われました。この日を選ぶ事によって、司教にヤ・ボニはラエリアン・ムーブメントの足跡をこの重要な祝日に残したかったのです。

10ほどの公式なラジオ声明、国際プレスリリースがすべての報道機関に送られ、200近い招待状が政治、行政、宗教、民間の代表者たちに送られました。

前日の政治危機によって国が揺れ、政府が解体し、交通機関でストが行われていたにもかかわらず、部屋は満杯になりました。環境庁長官や二つの王と伝統的長の団体、最大のテレビ局、国営や個人のラジオ局、約10の通信社が出席しました。



式は多くのアーティストによって始まり、伝統文化の専門家がアフリカの文化や伝統にある平和について話しました。ナショナルガイドと大陸ガイドが新聞社にインタビューを許可しました。ラエリアン・メッセージが紹介され、7月に日本でキャンペーンを始めた預言者のビデオが紹介されました。人々はマイトレーヤの言葉を非常に高く評価しました。調和がいたるところにありました。



夕方、国営ラジオ局がナショナルガイドのインタビューと共にその日の出来事を放送しました。最高だったのは、午後8時に放映されたテレビのニュースでした。調和的な映像やインタビューを示す、非常に肯定的なニュースで、素晴らしいコメントで締めくくられました。私たちの電話は鳴り止まず、会員になりたいというメールがたくさん来ました。

メディアの結果

- 国営テレビがその日の夜8時と11時に放映
- 国営ラジオがその日の夜7時と、翌朝7時と8時に放送
- 日刊紙4紙に広告
- 祝福の電話と加入申し込みがたくさん。

講演会で告知したとおり、次の土曜日にラエリアンはアビジャンの街で平和のための一分を人々で行いました。ラエリアンのおかげで、またもや人々は美しい愛と平和のレッスンを受けたのでした。

スイスでの平和のための1分

シエールでのセント・キャサリン・フェアで瞑想をした私の喜びと興奮を皆さんと分かち合いたいと思います。これは、私がラエリアン・メッセージを広めてきた中で最も美しい体験の一つでした。

午後3時ごろに到着して、通りの真ん中にポスターを掲げました。最初は難しかったです。人々は私のことを笑ったりからかったりしましたから。でも、瞑想と祈りをしている間にすべてが変わりました。5時には終わる予定だったが、参加する人が後を絶たず、ようやく6時に終わりました。関節がこわばっていました。

たくさんの方が瞑想をしました。

特に15歳から20歳の方が。私はたくさん短い瞑想を指導しました。(呼吸する、微笑む、幸せを感じる、この幸せを他の人と分かち合う、軍人が武器を放り出して互いに抱擁しあう...)

この若者たちは、たくさん感情を表現し、耳を傾け、尊重を示しました。明日の朝、彼らの何人かは学校で平和のための瞑想をクラスメートと一緒にするというのでした。

私は地面に胡坐をかいて座っていたので、子供たちと同じレベルで、同じ目線でいました。彼らの質問やコメントを聞くのは素晴らしいことでした。

私は未来の希望が持てたので、皆さんにこの体験をお話したいと思ったのです。この活動は、マイトレーヤ・ラエルが私たちに与えてくれた一つの宝物です。私たちの使命は素晴らしいです。私たちは本当に恵まれています！





皆さんに愛と平和を！
ネパールでの平和のための1分

ネパールのナショナルガイド、Upendra Singhも、ネパールで平和のための1分を始めました。

「人々と一緒に平和の瞑想をするだけで、本当に良い気分でした!! 私たちが行ってきた他のイベントとは全く違っていました。私たちがなぜ平和のために瞑想をする必要があるかを理解してもらうために、人々に説明する必要はほとんどありませんでした。彼らはただ私たちと一緒にそれをしたりしました。

「平和は可能です、それを感じなければならぬ」と言われるように、人類のための私たちの光であるマイトレーヤ・ラエルが私たちに示してくださった、この簡単で、調和的で、心を打つキャンペーンにおいて、私たちは平和を感じました。

私たちは何百人もの人々と接触しました。というのも、ネパールの三つの主要都市、ポカラ、ルンビニ、カトマンズで5回行いましたから。イベントはすべて仏教やヒンズー教の寺院で行われました。私たちの何人かがアオム唱え、他の人たちはチラシを配りました。男性、女性、子供たちが皆、私たちに加わりました。最も多く人を集めたのは、仏陀の生誕の地ルンビニでした。そうです、私たちは皆平和を感じました!!!

タイから来て私たちと一緒に活動してくれた私たちのラエリアン姉妹アプー、そして他のラエリアンやラエリアン以外の兄弟姉妹たちSom Nakrmi, Anjan Dhakal, Suwarch Devkota, Lalit Gurung, Bharat, Anju Chand, Abhusan Chandに感謝します。彼らのおかげでネパールでのキャンペーンを成功させることができました。



11月17, 18日、メキシコ、モレリアにて



ルーベン、アイダ、カルロス、シルベスター、ラファエル、イザイア、イヴェット、プリシラ、アルカディオ、ルイス・アントニオ、そして3人の美しい賛同者の女性が、素晴らしい宗教的伝統の町モレリアの中心に集まりました。

私たちは大聖堂の隣のキオスクの前で、「私たちと平和のために1分間瞑想をしましょう」と書かれたのぼりを掲げ、18:30からの講演会のチラシを配りました。



講演会の参加者は65名で、暴力の多いこの都市にやってきた、愛と世界平和に関心のある運動のことを聞こうとやってきた人々の反応を見るのは素晴らしかったです。

メッセージは常に、すべての人々にとっての希望の光です。

メキシコ市ガイド、フランク・キャバレロ

オンライン瞑想

「インターネットは寺院です」と弥勒菩薩ラエル(65aH沖繩セミナー)。昔の人々は、コミュニケーションを取り合うために、教会や寺院に行っていました。その後、電話、テレビが登場し、今はインターネットが寺院となり、世界中の人がそこでコミュニケーションをしています。マイトレーヤは、この寺院を通して、私たちは他人の人生に影響を与える事ができるということを意識するべきですとおっしゃいました。でも、助けを必要としているホームレスの人々も私たちの近くにいることを忘れないでください…。

「クリッカー一回で私たちは人生を変えることができます」

2012(66AH)年7月21日、毎月第4土曜日に行われる英語世界瞑想で、チェコ共和国のカムリという名の方が新しく参加していました。皆がマイクを使ってその日のテーマ「自分自身を大切にする」について特別ゲストに質問できました。カムリは簡単に自己紹介をして、主に彼の人生で体験した苦難について説明しました。彼は精神病院にいて、そこからイベントに参加していました。彼にとって、私たちに皆とつながっているという事は大きな違いを生み出しました。突然、一人ぼっちだとは感じなくなったそうです。彼は彼を理解してくれる人を見つけたのです。私たちはとても感動し、皆で一分間、カメラに移った彼の顔に向かって愛を送りました。それはとても力強いものでした。会議室のみんなの感情を感じ、愛の涙でいっぱいになりました。

数ヵ月後、カムリは私に言いました。10月7日にスウェーデンで、私たちの素晴らしいスウェーデンのナショナル・ガイド、ケニー・ストルプによってトランスミッションを受けたそうです。更なる感動!!!

私たちの愛する弥勒菩薩がおっしゃったように、「クリック一回で、人生を変えることができます」それは皆さんにも起こるかもしれません。皆がつながっていることによる影響と力を発見しようとしている皆さん。どうぞ、私たちと一緒にこの素晴らしい冒険を体験してみませんか。

オンラインでお会いできることを楽しみにしています。

慈愛

ヨーロッパのオンライン瞑想英語担当、サキナ

フランス：12月10日を世界的な祝日にするために

12月10日月曜日、世界人権宣言の記念日に、ラエリアンはフランスの主要都市に集まり、その日を世界的な祝日にするのをフランス当局に正式に要求していることを人々に知らせ、インターネットでの署名活動についても知らせました。リール、モンペリエ、エクサンプロバンス、ニース、ツーロン、メッツ、パリ、ナント、ボルドー、リヨン、トゥルーズ、どの都市でも出会った人々から素晴らしい支持を受けました。

パリでのイベントは特に重要なものでした。なぜなら、それは1948年12月10日に国連総会によって世界人権宣言が公表されたまさにその場所トロカデロの人権宣言広場で行われたのですから。ティエリーからの報告：「パリでこのイベントを行うのに理想的な場所は、ここしかありません。64年前に世界人権宣言が発表された記念に名づけられた、シャイヨ宮の双翼の間にあるトロカデロの人権大通りです。私たちに会いに来た通行人は、私たちの活動に感動していました。その一人は、アムネスティ・インターナショナルのメンバーで、人権の保護と促進のために働いているドイツ人の若い女性でした。彼女は署名し、この世界的に重要な活動を支持してくれました。

リヨンのオシリスからの報告：「私たちへの支持を示してくれた人はたくさんいました。私たちがいるだけで、自由は当然のことと思っはいけないし、この社会によって自分たちが抑圧されないように常に注意する必要があるのだという考えが強められていたかもしれません」



ラエリアン・ガイドのマリエラからの報告は、小さな活動が及ぼす影響について示してくれます。

「私は私の住む町の通りでチラシを配っていました。一人の男性が一枚受け取り、うなずいてくれました。この紳士は、私がひとりで活動していることを褒めてくれました。彼は私を手伝いたいと言い、私にエクサンプロバンスの市役所の前に立つように言いました。彼によると、そこは議員がたくさん通るので、世界人権宣言を称えて世界的な祝日を作るという考えが広まるように、議員にチラシを渡さなければならないと言いました。彼が私について来てくれることになり、その道すがら、彼は絶えずこの活動について褒め称え、そこで市長にも会いました。

彼は市長に挨拶していました。彼は私にたくさん質問してきました。私はこの活動を始めたラエリアン・ムーブメントとメッセージについて彼に話し、彼は聞いた事がない、私と話ができてうれしいし、もっと知りたいと言いました。彼は言いました。「私は市議員です。お手伝いしたいです。議員をたくさん知っていますので、チラシをください。彼らに渡します」私は20枚ほど彼に渡しました。また、私は彼にある写真を見せました。ヴローの市場の「人権広場」と呼ばれる場所での祝日の提案に関するチラシをラエリアンが配っている写真です。皮肉な事に、警察が来て彼らにそこを立ち去るように言いました。世界人権宣言に違反して!

南カーマでのハピネス・アカデミー

南カーマのハピネス・アカデミーが、美しいプレトリア(南アフリカ)で行われました。そこは自然があり、動物保護区であり、アパルトヘイトの影響でたくさんの非常に洗練されたインフラがあります。弥勒菩薩の教えによって輝くエロヒムの光のおかげで、私たちには何の暗い影も見えず、私たちの脳と体中の細胞すべての中とその向こうに、無限の色に光る星がたくさんありました。

弥勒菩薩の言葉一つひとつが私たちのニューロンを優しくなで、永遠に続く覚醒への道において、最も官能的な女性らしさで私たちを導き、彼の素晴らしい声は、参加者全員の奥深くにある純粋さに届き、私たちの意識を刺激して、内面の幸せを表現させました。弥勒菩薩、私たちに幸せの存在の秘密について教えてください、ありがとうございます。

美しい会場と、素晴らしい夏の気候(南アフリカでは12月、1月が夏です)、そして教えの純粋さがこの体験を忘れられないものにしました。朝の瞑想の最中、鳥たちの鳴き声や、草食動物が朝の光で目を覚まし、自然と美のシンフォニーがこの覚醒の瞑想に加わるのを耳にしました。何という崇高さ!体の細胞の一つひとつが私たちの周囲と内面の感情の交換を意識する幸せ。涙が溢れます。



サンフランシスコでクリトレイドの手術

11月30日

昨日、バウワー医師は、サンフランシスコで4人の新しい患者の手術を行いました。この48時間の愛のマラソンで私は光栄にも彼女の後について回る事ができました。その報告です。

4つの手術は非常に上手くいきました!!この女性たちは素晴らしいです! バウワー医師は手術の結果に非常に満足しています。女性たちは家に帰る前にサンフランシスコのホテルで休息および回復中です。

患者の一人、Oさんは、背が高く強い素晴らしい女性で、西アフリカのアクラガーナからやって来ました。彼女はこの手術で彼女の人生と運命を変えようという強い決意を持っていました。彼女は数年前にフォルデ医師とフランスで会いましたが、当時は手術をするお金がなく、それでもいつか完全な女性になるという決意を持っていました。そして今日、彼女の夢がついになつたのです!

手術前のホテルで、Oさんはもう一人の患者Lさんと一緒にになりました。彼女はとても恥ずかしがりやの美しい若い女性で、エチオピア出身で現在アメリカに住んでおり、性器切除のことを深く恥じていました。身体検査の最中、バウワー医師が紙のシートを彼女の脚の上の置いた時、突然泣き出しました。

どう説明したら良いのか分かりませんが、自分が不快だと思っているあの場所をマルチに見せると考えただけで、彼女の顔が突然ひどい恥辱に満ちたのです。彼女は、母親や他の女性たちから性器切除のことを「あなたにとって良いことだ」と言われたのですが、それによってさらに彼女は自分のことを悪く思うようになりました。

今日、私が彼女と電話で話した時、全く違う人と話しているかと思いました。!彼女は高揚していました。声がとても明るかったのです!彼女は、「私に運が向いてきた」と言い続けていました。24年間彼女の脚の間にあった「のろい」が突然消え、彼女はついに自分を愛し、彼女の性器切除を指示した母親を許し始めることができたかのようでした。

4番目の患者Dさんは、素晴らしい、優しい女性で、旦那さんと4人の子供とやって来ました。彼女も、女性としての新たな人生の始まりを求めています。母親としてどんなに忙しくしていても。



その他の活動の写真

ヴェガスでのラエルマス



キューバ初のラエリアンを見つけた幸せなチーム



沖縄でのラエルマス



沖縄でのラエルマスにて、ロータス



12月13日韓国釜山



12月13日韓国



イタリア、ミラノで平和のための瞑想に参加する若者達



オンタリオ州オタワ、女性への暴力に反対する
クリトレイドの行進



ケベックでのクリトレイド